



第 10 号

2019年1月発行

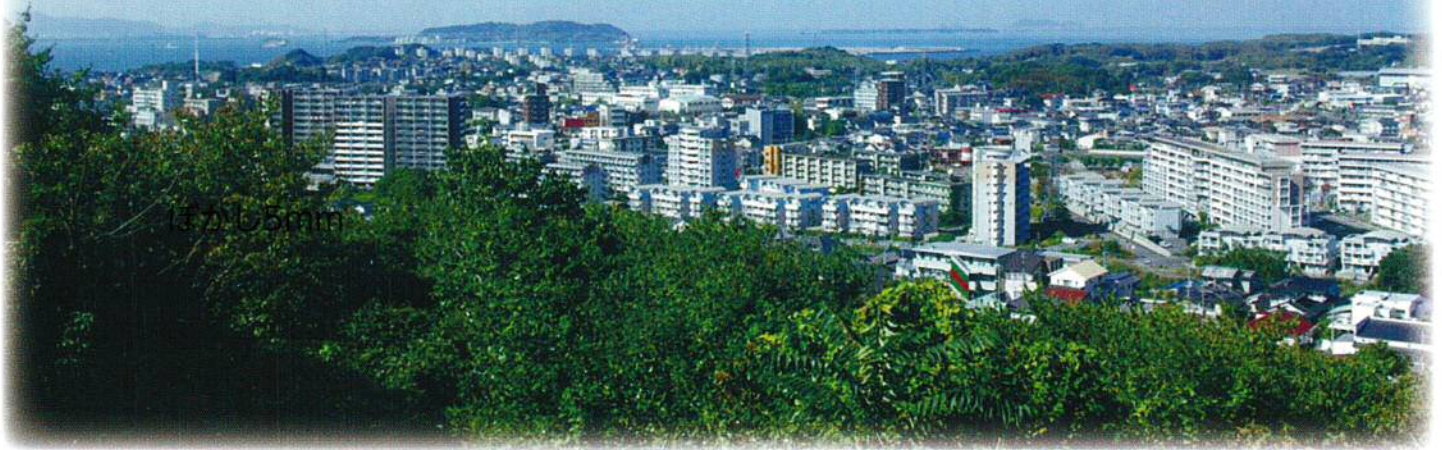
YOTSUBA NO TAYORI

山の田地区まちづくり協議会 四つ葉のたより 検索

四つ葉のたより

発行 山の田地区まちづくり協議会

〒751-0834 下関市山の田東町 4-13 (北部公民館 2F)
TEL : 083-250-7955 ・ FAX : 083-250-7965
ホームページ : <http://yotuba2017.sakura.ne.jp>



新年のご挨拶



山の田地区まちづくり協議会
会長 村尾 寛

新年明けましておめでとうございます。

山の田地区まちづくり協議会地域
(山の田・大学町・武久・幡生地区)に在住の
皆様方におかれましては、穏やかな新年を
お迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年は四月三十日に今上天皇が
退位され、皇太子さまの即位、改元が挙行
される非常に大切な節目の年であります。

山の田地区まちづくり協議会は設立
以来二年七カ月を経過し、各部会で様々な
事業を着実に実施してきたと自負致して
おります。

今後とも、元気で活力あるまちづくりを
実現する為、微力ではありますが、役員を
始め部会員一同尽力致す所存ござい
ます。

本年が皆様方にとりまして良き年とな
ります様、心からご祈念申し上げます。年頭のご
挨拶とさせていただきます。



山の田地区まちづくり協議会

旧年中は山の田地区まちづくり協議会にご協力いただき誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- ◎ 会長 村尾 寛
- ◎ 副会長 鶴田 健二
- ◎ 副会長 岩根 吉夫
- ◎ 副会長 松本 修平
- ◎ 事務局長 中尾 順吉
- ◎ 会計 門前 美智子
- ◎ 総務部会 部長 松岡 茂
- ◎ 健康福祉部会 部長 田中 勝正
- ◎ 青少年育成部会 部長 松井 真一
- ◎ 安全・安心部会 部長 金光 義人
- ◎ 環境部会 部長 秋山 賢治
- ◎ 産業・文化部会 部長 田部 宗紀
- ◎ 顧問 山口県議会議員 平岡 望
- ◎ 顧問 下関市議会議員 香川 昌則
- ◎ 顧問 下関市議会議員 恵良 健一郎
- ◎ 監事 岸田 勘市
- ◎ 監事 河村 満正

第44回

北部地区文化祭の開催

11/10(土)・11/11(日)

11月10日(土)、11日(日)に北部公民館、勤労婦人センターを中心に北部地区文化祭が、秋晴れの中、盛大に行われ、大勢の人たちでにぎわいました。



「フジバカマ」の花畑に「アサギマダラ」が飛来しました



武久団地自治会では、5月に高齢者の「ふれあいの場」として、集会所の空き地を利用して「フジバカマ」を植えて「アサギマダラ」を呼ぶ「ロマン」に取り組んだ。

「アサギマダラ」は東南アジアから日本に1,500kmも海上を移動し飛来する蝶で、秋の七草のひとつ「フジバカマ」を好む。

5月26日に苗を入手し、ポットに植えることから始まった。株分けをしながら、100株になったとき、耕した空地に植え付けて、水やり・草取りしながら、成長を見守ってきた。10月初旬50~60cmにのびた草丈につぼみを付け始め、10月9日(火)に2分咲きとなり、待望のアサギマダラが飛来した。10月13日(土)には蝶の大群が飛来し、

目的どおり多くの人が集まって「ふれあい」の場となり写真を撮ったり、蝶を眺めたり、楽しい集いの場となりました。

11月3日(土)アサギマダラの羽に番号(TAF7266)を付けた蝶が飛来し、のちに調べると、長野県の団体が印したものと分かった。

武久団地自治会は、今後継続してこの「空き地」を花の咲くうおいのある場所にしていきたいと頑張っている。

まちづくり協議会は、2019年春に各自治会に「フジバカマ」の苗を配布して「アサギマダラ」を飛来させ話題の多い町にしたいと計画している。



まちの話題

10月7日 山の田地区スポーツ「ふれあいハイキング」開催

10月7日(日) 地区住民の親睦と健康増進のための行事で、山の田地区スポーツ推進協議会主催の「ふれあいハイキング」があり、約70名の参加者はゼッケンをつけて、準備体操後「10時」に北部公民館から、目的地の「金比羅公園」を目指して出発しました。響灘を望む国道191号線の歩道を歩きながら、青い海と青い空、長州出島と六連島が右に見える美しい海岸沿いのコースを、公園までおよそ1時間かけて歩きました。

公園では、一息入れた後、グラウンドゴルフに興じ、楽しいおしゃべりをしながら、弁当を食べて満足、用意された当日のメインである〈栗拾い〉を頑張りました。「親睦」と「ふれあい」を満喫し、秋の日の楽しい1日を過ごしました。



10月14日 戦場ヶ原公園までのハイキング&スポーツ

生野小学校区スポーツ振興会・
幡生地区社会福祉協議会 共催

10月14日(日) 9時に老若男女62名が幡生宮の下近隣公園に集合。

青空に恵まれ汗ばむ陽気のもと、ラジオ体操で体をほぐした後、元気に近隣公園を出発。旭から後田のバス停を通り、一路戦場ヶ原公園へ到着。パタンク、グラウンドゴルフ(ホールインワン)、輪投げ、フリスビーを楽しんで昼食タイム。

隣の忠霊塔広場では、保育園児の体育大会が催されており、負けじとじゃんけん大会を繰り返し、大いに遊び楽しんだひと時でした。



10月17日 幡生地区ふれあいGG交流会

生野小学校区スポーツ振興会・
幡生地区社会福祉協議会 共催

10月17日(水) 9時に幡生宮の下近隣公園に集合。

朝から晴天に恵まれ、9時15分スタート、グラウンドゴルフ3ゲームを競い合った。今回はいつもより少ない40名の参加でしたが、11自治会混合の組み合わせの中で、和気あいあいと楽しい交流戦を行いました。

優勝は女性でスコアは総得点46、ホールインワン3回、2打の回数11でした。



11月5日 『ふれあいいいききサロン』を始めました!!

幡生町2丁目西自治会

11月、高齢者相互の交流の場として、毎月2回、第1・第3月曜日のペースです。

7月から始めた『いきいき百歳体操の会(毎週月曜日)』を起点に、自治会の福祉活動の取組として、福祉員・保険推進委員・民生児童委員が中心となって立ち上げた『ふれあいご近所づくり事業(市社協)』の認定を受けた活動です。

参加者相互の自主性を重んじて、活動内容を自分たちで考え工夫しながら運営することになっています。



まちの話題

11月4日 明治維新150年記念下関海響マラソン2018

11月4日(日)下関海響マラソンが開催され、秋晴れの下、国道191号線北バイパスの響灘を望む美しい景色の沿道では、力走するランナーを励まそうと、武久地区自治連合会の約70名のボランティアが、給水やみかんやコーラでおもてなし。ゲストランナーの猫ひろし氏が「みかん」に手を伸ばすと、ひととき大きな声援を送り、大会を盛り上げました。

ボランティアに参加した人たちは、駆け抜けるランナーたちの給水サポートで交流ができました。



12月2日 第4回ふれあいクリーン大作戦実施

12月2日(日)午前8時30分から「ふれあいクリーン大作戦」が行われました。子どもの健全育成のためには、地域、学校、家庭の連携が重要であり「子ども会」などの活動が減少していく中で、地域と児童・生徒のふれあい交流を図るため、地域内の清掃活動を共に行いました。

各地点からスタート、ゴミを集めながらゴール地点の生野小、山の田小、大学3丁公園、武久会館に到着。集めたゴミを分別した後、ふれあい行事を行いました。



武久海岸



生野小学校体育館

12月2日 恒例行事の「ふれあい餅つき交流会」

大学町地区社会福祉協議会恒例の「3世代ふれあい餅つき交流会」が、大学3丁公園内の大学町集会所で開催されました。よく晴れた青空のもと、バーナー3台で蒸しあげたもち米を、臼2台でもちに仕上げ、町民みんなで「つきたてのお餅はおいしいね。」と言いながらたくさん食べました。公園では、大人も子供もビンゴゲームの競技に夢中になって、町民のふれあいの場がさらに盛り上がり、クリーン大作戦とあいまって「ふれあい餅つき交流会」は非常に楽しい1日となりました。



11月29日 子どもにとってのネット・ゲームのホントの問題を考える講座を開催

11月29日(木)北部公民館で、山の田地区まちづくり協議会・にじいろネット・放課後ひろば☆山の田・生野あそぼう会共催の「子どもにとってのネット・ゲームのホントの問題を考える!大人のための講座」が開催されました。講師のNPO法人アフタフ・パーバン関西事務所所長 北崎圭太さんによると「子どもにスマホを持たせていいのでしょうか?」その問自体に意味がないということです。なぜならスマホがどれだけ危険かの指摘があっても、その流通の勢いは止められず「もうスマホがなくて生きていけない」社会になっているからです。子ども期の過度なスマ

ホ利用は多くの問題を含みます「持たせていいよ。だけど、子どもにとって本当に大事なものを思い出してほしい。」なにをすればよいのかを、わかりやすく語ってくれました。参加者は、講師の熱いトークに、引き込まれるように耳を傾けていました。「考える」「あそぶ」「関わる」「調べる」「出会う」「買う」「議論する」など、今や、生活の中の面倒なことが、便利なスマホ任せになって、過剰な利用になってしまう「持たせていい」だけど…おとなの覚悟はできていますか?参加者は楽しみ合いながらも考える「子どもとスマホ」の講座でした。

